

# 西脇市消費生活センター

☎22-3111 (防災安全課内)

No.153

## 平成29年度の消費生活相談報告

◆相談件数 274件 (前年度比39件減)

相談件数は年々減少傾向にあります。内容は多様化しています。また、60歳以上の方の相談が約4割を占め、契約者等が高齢者の場合はご家族からの相談が多いです。

### ◆主な相談内容

【インターネット情報サービス (27件/うち20件は架空請求)】

代金を支払ったのに商品が届かないトラブルのほか、実在する大手ショッピングサイトや動画配信会社を名乗り、未払い料金を請求する架空請求メールなどが増加しています。

【融資サービス (27件)】

多重債務や融資に関する相談が多いです。

【健康食品関係 (8件)】

新聞やスマートフォンなどの広告を見て「お試し」のつもりで申し込むと「定期購入」が条件だったなどの相談があります。

※商品を購入、契約する際は「契約内容」や「解約、返品できるか」を確認しましょう。

※架空請求は無視して放置が原則です。ただし、明細付きの請求書や裁判所からの送達などは本物の可能性があるため、不安なら消費生活センターに相談しましょう。



前回のまちかどミーティングの様子 (平成27年)

また、7月から市内8カ所で「まちかどミーティング」を開催します。皆さまと一緒にまちづくりについて考えられる貴重な機会であり、とても楽しみにしています。多くの方のご参加をお願いします。このまちに住んでいることを誇れる「西脇市」をともに創っていきましょう。

## おもてなしコラム 26

西脇市では、「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を施行。豊饒の地で生産された地域食材や地場産業などの魅力に認識を深め、郷土に誇りと愛着を持って来訪者をもてなすことで、本市のさらなるにぎわいの創出を目指しています。

■問合せ 農林振興課 (市役所内線 322)



みずみずしいトマトはいつ食べてもおいしいです

### トマトを安定して供給する仕組み

一年を通して手に入りやすい農作物の一つにトマトがあります。市内の農産物直売所での人気は高く、トマトは全体の売上額の中で上位に位置しています。

夏野菜のイメージがあるトマトは、4月下旬から5月上旬にかけて苗を植え夏場に収穫します。これは露地栽培によるもので、寒い時期に店頭に出るトマトはハウス栽培のものが主です。

日本よりも国土の狭いオランダは、高度な施設園芸技術と大規模栽培によりアメリカに次ぐ世界2位の農産物輸出国になっています。オランダのように、狭い農地で安定した収量と農業所得を確保するため、ハウス栽培は世界的に注目されています。

市内でも近年、農業法人や企業がトマトのハウス栽培に新規参入し、農産物直売所へトマトを出荷しています。市内で栽培されたトマトをぜひ一度ご賞味ください。



## 市長からの手紙 53

西脇を元気に!!



西脇市長 片山象三

「まちかどミーティング」を来月6日から開催します

皆さまは先の大型連休をどう過ごされましたか。私は頼政祭や岡の山まつりなど、地域の祭りに参加させていただきました。多くの参加者でにぎわうこれらの祭りは、地域の皆さまの手作りで行われているもので、参加するたびに地域の活気を感じています。

また連休後半は、大手百貨店からの提案を受けてインバウンド(外国人観光客)の獲得を目的に、現地3泊機中2泊の日程でタイのバンコクを訪問。滞在中に現地の旅行社、百貨店、銀行などの一般企業、大使館、JETROなど政府機関を10数カ所回り、さまざまな情報を得ることができました。市の課題の一つである観光誘客に生かしていきたいと考えています。

これまでに実施した新しい市庁舎と市民交流施設整備の説明会や、各種計画のパブリック・コメントでは、さまざまなご意見をいただきました。市では、年間50万人が訪れる「西が丘複合施設みらいえ」と並ぶ市の拠点施設となるよう、施設の交流機能を検討し、整備を進めていきます。

# 好きです!! にしわきわたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる  
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。



▲西脇こども園での体験活動 (昨年のトライやる・ウィーク)

## 中学生が体験活動「トライやる・ウィーク」を実施

「トライやる・ウィーク」は今年で21年目を迎えました。今年度は市内4中学校の2年生が、6月4日(月)～8日(金)の5日間、市内を中心とした110カ所の事業所にご協力いただき体験活動を実施します。元氣いっぱい2年生に、温かいご声援をお願いします。

「トライやる・ウィーク」は、中学生がさまざまな体験を通して自分の生き方を見つめられるよう「心の教育」として平成10年に始まりました。「トライやる」の名称には、「挑戦する」「トライ」と、「学校、家庭、地域の三者連携」「トライアングル」の意味が込められています。中学生が多様な社会体験活動を通して達成感を感じ、自己有用感を高めることを目的としています。

バンク登録ありがうれしい  
また

今年度バンク登録していた事業所は113カ所。中学生の希望により活動場所を決定したため、ご厚意にお応えできなかった事業所の皆さまにはお詫びいたします。来年度も、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

「トライやる」アクションの活動場所を募集しています

オリジナル「トライやるのツッペン」を付けて活動します

今年度は伊藤虎さんのデザイン。2年生の干支である申と酉をモチーフに、西脇東中学校2年生の皆さんが考えた中から選ばれました。



西脇東中学校2年生 伊藤虎さん

「トライやる」アクションは、中学生がスタッフとして地域の行事等に参加し、地域の良さやふるさとの恵みに触れることをねらいとしています。皆さんと共に体験活動ができる場をご提供ください。

▼期間 土・日曜日、祝日、長期休業中

▼対象 中学1～3年生

▼申込み・問合せ 学校教育課 (市役所内線 520)

## 心のスケッチ

111

## 人権教育課コラム

梅干しと私 ～高齢者について考える～

「食べ物が腐る時期に、梅の木に実がなる」と幼い頃に祖父から聞いたことがあり、子ども心に感心したものです。近頃、高齢者とのような会話をすることが少なくなったように感じています。西脇市では3世代同居の家庭が約4割と、高齢者と関わる機会が比較的あるようですが、つながりが少ないことから高齢者への関心が低くなり、誤った見方をしていないでしょうか。

「長患いをせずに亡くなってくれて良かったね。迷惑を掛けない。子孝行」という会話を耳にします。当人に悪気が無くとも、高齢者は「病気をしてはいけないのか」と生きていることに気を遣ってしまっています。また、ある集会では「枯れ木も山のにぎわいだから参加してください」と高齢者の参加を呼び掛けたところ、大きな問題となりました。高齢者は枯れ木なのでしょうか。高齢者の中には体力や意欲などの低下、親しい人との死別、居場所や仕事を無くすなどで喪失感を抱え、死や病気の恐怖心を持ちながら生活

している人もいます。社会的なつながりの中では「古い」考えと否定され、若いことに値打ちがある風潮や、衰えに対する過度な気遣いで自尊心が傷つきます。また、「何もしたくないよ」と家族や地域から言われ、自己有用感を無くすこともあります。しかし実際、高齢者は不安や悩みを抱えながらも力強く生きています。素晴らしい経験値と共に楽しみや希望を持ち自己を高めています。統計では8割以上の高齢者が精神的に健康であるといわれています。ストレスや体の不調があっても見事に心のバランスを取っています。高齢者をひとくくりにしてイメージすることはできません。

限りある一度の命を最後まで輝かせて生き、互いを価値ある人間としていつまでも認め合える社会であってほしいと思います。

「風邪をひきやすい冬の時期に、ミカンが実る」と、物知りな祖父が教えてくれた言葉が今でも思い出されます。(人権教育課)